
■ さろん | Mail News 2018/12/8 | #127 ■ 【イベント号】

ご案内不要の方はお手数ですがこのメールにそのままご返信ください。

哲学カフェ及び関連イベント情報をお送りします。みなさんの興味・関心の一助としていただくとともに、今後とも「さろん」を応援いただければ幸いです。

なお、このメールニュース掲載のコラム等は執筆者の個人的な考えを表したものです。会や専門領域における統一見解や事象を扱っているものではありません。予めご了承ください。

====Vol.127 2018年12月8日(土)====

さ | ろ | ん |

— — —

M | a | i | l | N | e | w | s |

— — — — —

<http://salon-public.com/>

(バックナンバーはHPからご覧いただけます)

<https://twitter.com/salontetsugaku>

<https://www.facebook.com/salontetsugaku/>

INDEX

- | 【1】 予約受付中：12/15 さろん哲学 第100回 テーマ：「区切る」 & アフターパーティー
 - | 【2】 予約受付中：12/9 朝さろん (87) 「眠れる分度器」山田詠美/〈リクエスト特集〉
 - | 予約受付中：1/10 朝さろん (88) 『キッチン』吉本ばなな/〈ポスト平成の major key〉
 - | 【3】 予約受付中：12/22 特別企画 さろんクリスマスパーティー2018のご案内！
 - | 【4】 開催の報告：11/17 さろん哲学 第99回 テーマ：「差別はなぜ起こるのか」
 - | 【ご案内】《さろんラボ》
 - | 【5】 関連イベント情報
 - | 編集後記
-

《 さろん 2010 - 2018, and more...》

クローズド・スタイルでのプレ開催を経て、第1回目の「さろん哲学」を開催したのが2010年9月11日。

今年の9月におかげさまで満8周年を迎え、9年目に入っています。

そして2018年12月15日。

通算第100回目の「さろん哲学」を開催いたします。

「さろん哲学」は毎月1回の開催です。

一年が12カ月(=12回開催)なので、毎月欠かさず開催すれば8年と4カ月で100回を数えることができます。

けれど、「数える」と、「達する」ことは、同義ではありません。

そしてまだ「達して」はいません。なによりも、これもひとつの通過点だと思います。

でも、こうして第100回を迎えられることをしみじみ喜びつつ、これまでとこれからを応援してくださっているみなさんと、ひと時の宴席も設けながら、一緒に味わいたいと思っています。年の瀬も迫りなにかとお忙しい中だと思いますが、ぜひ遊びにいらしてください。

それから。

こういうモニュメンタルなパーティーとは別に、例年おなじみの、そしてお約束の「シンプルにとことん楽しい」クリパも開催です。ことしは12月22日。

毎年常連のアナタも、ことしは行ってみようかしらとそわそわしてるアナタも、そんなのいま初めて知ったよというそのアナタも、たまには賑々しく、ヤマタツをBGMに、楽しみましょう♪恒例のCOS下北沢で開催です。

泣いても笑っても、今年のイベントはこれでおしまいです。

はしゃぎ残しのないように、全力スマイルで口角あげていきましょう。

「笑う門には福きたる」ってね。ホウ。

CONTENTS

【1】さろん哲学

第1部【さろん哲学 第100回 テーマ：「区切る」】

第2部【第100回記念 アフターパーティー】

次回さろん哲学を下記のテーマで開催します。

日 時：2018年12月15日(土) 15:00-19:00

テーマ：「区切る」

進 行：野田

会 場：カフェ アンダーザマット(中目黒) <http://www.underthemat.jp/>

参加費：ドリンク代500円と運営費300円

定 員：16名

▽司会から：

お陰様で今回のさろん哲学はめでたく三桁の大台に到達します。
そこで記念の意味も込めて、区切るをテーマに致しました。

なお、さろん哲学終了後、2時間のパーティを開催します。参加費は1500円程度を予定しています。軽食を提供いたします。ドリンクは別料金です。

第1部「さろん哲学」(¥800-)、

第2部「パーティ」(¥1,500-程度) (ドリンクはお店にて別途。適宜ご注文)

お申込み時には上記をご確認ください。

第1部もしくは第2部いずれか一方のみにご参加希望の場合は、かならずその旨を御銘記ください。

特段明記のないお申込みについては「1部&2部両方でのお申込み」として承ります。

ご予約・ご質問はこちら⇒ salontetsugaku@gmail.com

詳細はこちらをご覧ください。

<http://salon-public.com/tetsugaku/>

<https://twitter.com/salontetsugaku>

*携帯からメールを送信される場合、お返事のメールが受信できるよう、迷惑メール設定を適切にご変更願います。

*さろん哲学は原則【毎月第3土曜】に開催しています

*さろんのイベントに参加申し込みをされた方には、もれなく毎月メールニュースが配信されます。
ご不要の方はさろんのHP <http://salon-public.com/> の末尾のフォームに、その旨ご記入願います

—— 【2】朝さろん/夜さろん ——

朝さろん 〈87〉「眠れる分度器」山田詠美 / 〈本棚拝見(リクエスト特集)〉

朝さろん 〈88〉『キッチン』吉本ばなな / 〈自由と閉塞感の先へ：ポスト平成の major key〉

参加者の推薦による〈リクエスト特集〉、いよいよ最終回です。

みなさんから寄せていただいた推薦本を、毎月1冊ずつ一緒に味わいましょう。

先月の『神様のいない日本シリーズ』(田中慎弥)には、11名にご参加いただきました。

夜さろん「定点観測としての読書会～ウィステリアと三人の女たち」には5名のご参加をいただきました。どうもありがとうございました。

開催内容はHP「朝さろんの本棚」から閲覧できます。

<http://salon-public.com/archives/category/033>

◆朝さろん 87th morning

「眠れる分度器」 山田詠美 / 〈本棚拝見(リクエスト特集)〉

日 時 : 2018年12月9日(日)9:05-12:00

参加費 : 1500円程度 (ワンドリンク、室料、運営費、資料代込み)

場 所 : 渋谷周辺の会議室利用予定 (ご予約時にご案内いたします)

本 : 「眠れる分度器」(『僕は勉強ができない』所収) (新潮文庫)

定 員 : 10名程度 (要予約)

パリスタ (進行) : 川崎 さん

内 容 :

□推薦者・川崎さんからの推薦コメント

『老獺なカラスぐち仮面爺と 全てを溶かし酔わせる魔性の女が 魅力的な男を生み出すために仕掛けた時限爆弾。

数多くの大学入試問題に取り上げられると同時に、教科書検定に通らないというこの難解な国語の授業。あなたがそこに見出すのは、拒絶か嫌悪か喝采か。秩序と連帯、同情と優しさ、鈍感と自己嫌悪、複雑に入り混じり自分の居場所さえ見失う迷路の中で、かたぶつの壁を避け、沸騰の罫をよけ、答えの説明できない見えない問いを自覚し、そこに奇跡のように現れた魔法を、共に発見していければと思います。』

□あらすじ

『ぼくは確かに成績が悪いよ。でも、勉強よりも素敵で大切なことがいっぱいあると思うんだ——。17歳の時田秀美くんは、サッカー好きの高校生。勉強はできないが、女性にはよくもてる。ショット・バーで働く年上の桃子さんと熱愛中だ。母親と祖父は秀美に理解があるけれど、学校はどこか居心地が悪い。この窮屈さはいったい何なんだ！凛々しくてクールな秀美くんが時には悩みつつ活躍する高校生小説』

【新シーズン：〈自由と閉塞感の先へ：ポスト平成の major key〉】

◆朝さろん 88th morning

『キッチン』 吉本ばなな [1988] / 〈自由と閉塞感の先へ：ポスト平成の major key〉

日 時 : 2019年1月13日(日)9:05-12:00

◆朝さろん 89th morning

「二百回忌」 笙野頼子 [1994] / 〈自由と閉塞感の先へ：ポスト平成の major key〉

日 時 : 2019年2月10日(日)9:05-12:00

◆朝さろん 90th morning

「ニッポニア ニッポン」 阿部和重 [2001] / 〈自由と閉塞感の先へ：ポスト平成の major key(仮)〉

日 時 : 2019年3月10日(日)9:05-12:00

以上、お申込み受付け中です；

salontetsugaku@gmail.com (担当：芹沢)

過去の開催内容を HP に掲載しています。

◇朝さろんの本棚 <http://salon-public.com/archives/category/033>

◇夜さろんの本棚 <http://salon-public.com/archives/category/034>

【開催概要】

《朝さろん》第2週の日曜 AM に開催（場合によって開催週変更の場合あり）

《夜さろん》不定期開催

【3】【特別企画】毎年恒例

さろんクリスマスパーティー2018 のご案内！

街がクリスマスのイルミネーションに染まってきました。2018年、そして平成の年末最後を飾るさろんのクリパはまだまだ参加を受け付けています。一緒に、食べて、飲んで、ゲームでワイワイ楽しんで、今年の嫌なことを忘れて、なごみながらお喋りしましょう。

毎回ご参加の常連さんも、久しぶりのリピーターさんも、最近さろんにデビューを果たした新人さんも、このクリパが初めての飛び入りさんも、皆さま熱烈大歓迎です♪

- ・日 時 : 2018年12月22日(土) 13:00 から 17:30 まで
(途中入場、途中退席も可能です)
- ・場 所 : COS下北沢 (<http://cosfa.main.jp/access/index.html>)
- ・参加費 : 2,000円/人程度
- ・定 員 : 15名程度
- ・お願い : 持ち寄りパーティーとなります(飲み物とケーキ等は弊会が準備します)。何か食べるものを2~3人分程度の分量を一品ご持参下さい。
- ・予 約 : 大好評受付中です♪
- ・申し込み : salontetsugaku@gmail.com までどうぞ

※内容が一部変更となる場合もあります。

※詳細は、申し込まれた方に詳細を別途メールにてご案内差し上げます。

みなさんのご参加を、スタッフ一同心よりお待ちしております。

さろんクリパ実行委員長 堀越

ご予約・ご質問: [こちら⇒ salontetsugaku@gmail.com](mailto:salontetsugaku@gmail.com)

詳細はこちらをご覧ください

<http://salon-public.com/>

<https://twitter.com/salontetsugaku>

*携帯からメールを送信される場合、お返事のメールが受信できるよう、迷惑メール設定を適切にご変更願います。

【4】さろん哲学

第99回「差別はなぜ起こるのか」

前回さろん哲学を下記のテーマで開催しました。

日 時：2018年11月17日（土）15:00-17:00

テーマ：「差別はなぜ起こるのか」

進 行：堀越

会 場：カフェミヤマ渋谷公園通り店1号室

参加者：18名

進行役から：初参加者3名を含む総勢18名で、主に、差別とは何か、なぜ起こるのか、差別が起こる前の平等とはどういう状態か、差別に関する判断は利益・不利益を考えて行われるのかを話し、考えた。

近日中にHPに議事録を公開します。

詳細はこちらからご覧ください。

<http://salon-public.com/archives/category/023>

ご感想などありましたらお寄せください⇒ salontetsugaku@gmail.com

【おしらせ】

《さろんラボ》

名称：【さろんラボ】

コーディネーター：【堀越】

- ・哲学カフェを自分で開きたいけど、どうしたらいいかわからない…。
- ・読書会を自分で主催したいけど、自信がなくて…。

そんなときこそ「さろんラボ」がお力になります。さろんラボでは、みなさまの「やってみたい」を核に、さろんを触媒にして、どんな化学変化が起きるかを試みる場です。

ご参考までに、このラボからは、さろんの参加者の手で、以下の二つの活動がうまれました。

【さろんラボ 001】 「あたまの中を散歩するてつがくカフェ」

<http://sanpo-tetsugaku.jimdo.com/>

【さろんラボ 002】 「哲学カフェ Ante-table/アンティ・テーブル」

<http://ante-table.wix.com/ante-table>

既存の哲学カフェのカタチに限定せず、みなさんの中で温まっている関心事やご興味を添えて、どうぞお気軽に下記までご連絡下さい。

みなさんとの新しい化学変化を、スタッフ一同心から楽しみにしています。

▽詳細はこちらまで

salontetsugaku@gmail.com (担当：堀越)

【5】関連イベント情報

哲学カフェ関連イベントやおもしろスポット、その他おすすめ情報をご紹介します

From さろんラボ：001

〔あたまの中を散歩するてつがくカフェ〕第34回

ひとりひとりの言葉をじっくりと聞き、ゆっくりと考えることを大切に活動しているてつがくカフェです。東京と愛知の両方で開催していますので、参加を検討いただく際には会場のご確認をお願いいたします。みなさんのご参加をお待ちしています。

日時：2019年2月に開催予定

テーマ：未定

会場：東京都内のカフェで開催予定

定員：6名程度

参加費：無料

運営・進行：くらち

※参加には事前の申し込みが必要です

※ご都合にあわせて途中参加や途中退出をしていただいてもかまいません

※当日の詳細は参加申し込みいただいた方へご連絡します

※参加費は無料ですが、会場での飲食代実費は各自ご負担ください

※参加申し込みはウェブサイト内の「申し込みと問い合わせ」フォームから、

もしくは sanpo.tetsugaku@gmail.com までご連絡ください

(Gmailが受信できる設定をお願いいたします)

ウェブサイト <http://sanpo-tetsugaku.jimdo.com/>

ツイッター https://twitter.com/sanpo_tetsugaku/

お申込み・ご質問 sanpo.tetsugaku@gmail.com (くらち)

From さろんラボ：002

〔哲学カフェ Ante-table/アンティ・テーブル〕第16回

テーマ：私が『生まれる』とは、どのようなことか？

哲学カフェ Ante-table/アンティ-テーブル

HP : <http://ante-table.wix.com/ante-table>

email : cafe.ante.table@gmail.com

▽首都圏哲学関連イベントまとめサイト

<http://tokyotetsugakumatome.g.hatena.ne.jp/>

▽もっと自由に「てつがく」したい！対話がメインな東京の哲学カフェまとめ

<http://matome.naver.jp/odai/2136167936080093501>

▽全国各地の哲学カフェ

<http://matome.naver.jp/odai/2138543414370880601>

▽哲学カフェ一覧

<http://www.135.jp/lite/>

▽東京で行われている読書会まとめ

<http://matome.naver.jp/odai/2135489489421994201>

▽哲学プラクティス連絡会

<http://philosophicalpractice.jp/>

▽日本哲学プラクティス学会

<https://philopracticejapan.org/>

▽カフェフィロ

<http://www.cafephilo.jp/>

▽東京メタ哲学カフェ

<https://mgasamihonma.wixsite.com/tokyometa>

<https://www.facebook.com/tokyometa/>

▽Core Talk Cafe おとなのためのてつがくカフェ

<http://www.coretalkcafe.jp/index.html>

▽てつがくカフェ@せんだい

<http://tetsugaku.masa-mune.jp/>

▽てつがくカフェ「医療とケアを問い直す」

<http://sinemasamune.blog.fc2.com/>

▽NPO 法人子ども哲学おとな哲学アーダコーダ

<http://ardacoda.com/>

▽人生カフェ

詳細：詳しくは「人生カフェ」で検索を。

<http://tokyojinseigakuin.cocolog-nifty.com/blog/>

▽対話学舎えんたらいふ

ねりまの哲学対話“ねりテツ”

カフェ藤香想『わわわの話』

<http://msentalife.wixsite.com/entalife>

▽竹林茶話会 哲学 Cafe@柏

<https://www.facebook.com/chikurinsawakai/>

▽はなこ哲学カフェいどばたのいどほり

<https://www.facebook.com/hanakophilosophycafe/>

▽対話の実験室@公-差-転

<http://kosaten.org/taiwa/>

▽対話カフェ Tokyo～Yokohama

<https://taiwa-cafe.jimdo.com/>

▽デモクラシーCafe@東村山

http://blog.livedoor.jp/pieru80-democracafe_higashimurayama/

▽読書と対話の会

<http://1love.link/pg47.html>

▽クルミドの朝モヤ

<http://ameblo.jp/kurumed/>

▽小金井哲学カフェ

<http://koganei-philosophycafe.blogspot.jp/>

▽高千穂大学哲学研究会パイディア

<https://paideiatakachihophilosophy.wordpress.com/>

▽UTCP (東京大学大学院総合文化研究科・教養学部附属「共生のための国際哲学研究センター」)
<http://utcp.c.u-tokyo.ac.jp/>

▽P4C-japan
<http://p4c-japan.com/>

▽クラリスブックスの読書会 | 東京下北沢の古本屋
<http://blog.clarisbooks.com/2014/07/15/2696>

▽読書会ガイブンキョウク
<https://twitter.com/gaibunkyoku>

▽京都・大阪市民読書会
<http://kyotobookclub.blog.fc2.com/>

▽原稿の推敲・校正・リライトを支援する3つの文章チェックツールを作りました！
<http://tokimaki.hatenablog.com/entry/2016/10/23/160512>

▽リフレクション・ポータル
<http://reflectionportal.com/>

▽ヨコハマ読書倶楽部
<https://yokohama-dokusho.jimdo.com/about-us/>

▽本の場所 (表参道)
著者自身による小説の朗読会
<http://www.honnobasyo.com/>

▽『こどものてつがく・ケアと幸せのための対話』(シリーズ臨床哲学3), 大阪大学出版会
高橋綾 (著), 本間 直樹 ほんまなほ (著), 鷺田 清一 (監修)
<https://www.amazon.co.jp/dp/4872595807>

▽『ソクラテック・ダイアローグ 対話の哲学に向けて』(シリーズ臨床哲学4),大阪大学出版会
<http://www.osaka-up.or.jp/books/ISBN978-4-87259-604-5.html>

▽『問い続ける教師 教育の哲学×教師の哲学』
多賀 一郎 (著), 苫野 一徳 (著)
<https://www.amazon.co.jp/dp/4761923636>

▽読書猿 (『問題解決大全』) ×原田まりる (『まいにち哲学』) 対談
<https://www.bunkanews.jp/news/news.php?id=18117>

▽『なぜと問うのはなぜだろう』吉田夏彦（ちくまプリマー新書）

<https://www.amazon.co.jp/dp/4480689907/>

▽『子どもたちの未来を拓く探究の対話「p4c」』p4c みやぎ・出版企画委員会,東京書籍

<https://www.amazon.co.jp/dp/448781071X/>

▽『社会にとって趣味とは何か』北田暁大・解体研 [編著]

<http://web.kawade.co.jp/bungei/1262/>

▽『哲学がわかる 因果性』スティーヴン・マンフォード、ラニ・リル・アンユム、岩波書店

<https://www.amazon.co.jp/dp/4000612417/>

▽「観光経験の現象学」エリック・コーヘン

5つのモード〈レクリエーション、気晴らし、経験、体験、実存〉

<https://ci.nii.ac.jp/els/contents110000474986.pdf?id=ART0000859721>

編集後記

メールニュース第127号をお届けします。

まだ編集二回目ですが、ちょっとした文章を書くのって難しいですね。

数行でお洒落な文章を書きたいな、という憧れは昔からあるのですが、

狙って書こうとすると大抵ダサくなってしまいます。

運動もそうですが、考えて体を動かすよりも力が抜けている状態の方が良いパフォーマンスを発揮できることがあります。考えるより慣れる、ということでしょうか。

11月に入っても暖かい日が続いていると思ったら急に冬の空気が立ち込めてきました。

今年は記念すべき第100回目の例会、そして某スタッフが一年で一番張り切るクリスマスパーティーがあります。寒い日が続きますが皆様くれぐれもお体ご自愛下さい。

編集: (亀)

さろん | Mail News 2018/12/8

⇒次号 (12月15日頃発行予定)

さろん Mail News 第127号 / 2018年12月8日発行【イベント号】

編集・発行: さろん

salontetsugaku@gmail.com

<http://salon-public.com/>

<https://twitter.com/salontetsugaku/>

<https://www.facebook.com/salontetsugaku/>

- ◇ 「さろん」にお知らせいただいたお名前・メールアドレスなどの個人情報は、当会からのご案内のためだけに使用いたします。
また、ご本人の同意なく第三者への提供はいたしません。
- ◇ 「Mail News」の無断転載はご遠慮ください。転載ご希望の場合はご連絡願います。
バックナンバーはHPからご覧いただけます。
- ◇ 【Twitter】 <https://twitter.com/salontetsugaku/>
- ◇ 【Facebook】 <https://www.facebook.com/salontetsugaku/>
- ◇ 【ホームページ】 <http://salon-public.com/>
 - 「さろん哲学」 Web サイト <http://salon-public.com/tetsugaku/>
 - 「朝さろん」 Web サイト <http://salon-public.com/asa/>
 - 「さろん工房」 Web サイト <http://salon-public.com/koubou/>



"copyright (c) 2011-2018 さろん. All rights reserved."
